



諫高だより

ふじ

藤

むらさき

紫

長崎県立諫早高等学校

〒854-0014 諫早市東小路町1番7号

TEL 0957(22)1222 FAX 0957(22)5104

http://www.isahaya-highschool.ed.jp

『 誰にも負けないものを1つ持つ 』

副校長 石見 茂

秋風に たなびく雲の 絶え間より もれ出づる月の 影のさやけさ

藤原 ^{あきすけ} 顕輔 (新古今和歌集)

澄み渡った秋の夜空を月の光が煌々と照らす季節。立冬も過ぎて、一雨ごとに寒さがつり、御書院の木々の色にも晩秋を感じるようになった。

世界の情勢に眼を

今から40年前、アメリカのアポロ11号の阿姆斯特朗船長が人類史上初めての月面に第1歩を踏んだことは、今でも鮮明に覚えている。あの時は世界中がNASAから送られてくる世界同時中継の映像を見ていた。当時小学校6年生だった私も、リアルタイムで送られてくる中継映像をどきどきしながら見ていた記憶がある。月面にくっきりと残る人類初の足跡は衝撃的であった。

先日、NASAの月探査ロケットが月面に「水」の存在を初めて確認したとニュースで報道していた。人体の約75%以上が水である我々にとっては、水は当然不可欠な物質である。それが月面に存在することは画期的なことである。この発見は今後の宇宙開発にとって大きな第1歩になるだろう。

いま世界は、地球温暖化の問題、世界規模の金融危機問題、中東地域のテロ問題など、情勢は大きく動いているように思う。

ある有名な経済学者が「世界情勢ほどおもしろいドラマは無い」と言っていた。日本が世界から取り残されないように、日々刻々と変化する世界情勢をしっかりと注目していきたい。



九州大会に向けて練習に励む放送部

坂本龍馬に学ぶこと

来年の大河ドラマが「龍馬伝」ということもあり、いま長崎では「龍馬ブーム」が来ている。書店には、「坂本龍馬」の特設コーナーができ、新刊書も数多く並んでいる。

坂本龍馬が歴史の中で大きく活躍するのは、土佐藩を脱藩後の28歳から33歳で亡くなるまでのわずか5～6年の間である。交通機関も発達していない時代に、日本中を駆け回り、「薩長同盟」と「大政奉還」という日本の歴史を大きく動かす大偉業を成し遂げている。龍馬から学ぶことは、その行動力はもちろんのこと、行動に移す時期の見極めの良さである。じっと情勢を観察して、その時期が来たら迷わずに行動する。薩長同盟が成立したのも、時勢をうまく捉えていたからである。日本の状況や薩長両藩の立場をよく考え、絶妙のタイミングで交渉にあたることで成し遂げることができたのである。もう1つは、粘り強さである。薩長同盟も途中で何度も破綻しそうになるが、その都度、知恵を絞って軌道修正しながら同盟を成立させている。やはり、あきらめずに粘り強く努力することで運が向いてくるというのは、いつの時代でも同じことであろう。

誰にも負けないものを1つ持つこと

私の大学時代の友人に理学部数学科の友人がいた。彼はある時、私にこんな話をしてくれた。「ある夜、卒業論文で数学の数式の証明をしていた時、ある数式の美しさに気付き、そのあまりの美しさに感動で一晩中涙が止まらず眠れなかった」と話してくれた。学問を追究してそこまでの感動を味わえる人は、ほんとうに幸せな人ではないだろうか。私は彼を羨ましく思った。

自分が得意な分野で何か1つ誰にも負けないものを持つこと、そしてその分野で成果を出すこと、それは大きな自信につながる。

龍馬は「世の人は 我を何とも 言わば言へ 我が為すことは 我のみぞ知る」と言っている。人生の主人公は自分である、

その為にも自分の信じた道をまっすぐに進みたいものである。毎日、職員室横のベランダには、黙々と学習する諫高生の姿がある。それぞれの目標に向かって懸命に努力している諫高生に第二の「坂本龍馬」を重ね合わせるのには私だけでしょうか。



職員室横ベランダの学習風景

第33回全国育樹祭

10月4日(日)、皇太子殿下のご臨席を仰ぎ、第33回全国育樹祭が雲仙市国見町百花台公園で開催されました。本校1年生がメインアトラクションで「のんのこ踊り」などを披露しました。



メインアトラクションで「のんのこ踊り」等を披露。

暴排・地域安全コンサート

10月10日(土)、市内本町アーケードのポケットパークにおいて毎年恒例の暴排・地域安全コンサートが開催されました。今年も本校からは吹奏楽部が出演し演奏を披露しました。



第1学年保護者会



高校教育課 古川恭子先生の講演



駿台福岡校 田中博明先生の講演

10月1日(木)、諫早文化会館において、第1学年の保護者会を開催しました。全体会では2つの講演、分科会は普通科と理数科に分かれて実施しました。全体会の講演については、1つは講師に駿台福岡校の田中博明先生をお招きして「大学受験の現状と学力向上を目指して」という演題で、もう1つは講師に県教育委員会高校教育課から古川恭子先生をお招きして「家庭で取り組む食育」という演題で講演をいただきました。65%を超える参加者でたいへん有意義な学年保護者会を開催することができました。

人権・同和教育



11月17日(火)、講師に長崎ウエスレヤン大学の
中野伸彦先生をお招きして、本校体育館において人権・
同和教育を実施しました。

「人権って何?—豊かな人間関係づくりをめざして—」
という演題で、1時間ユーモア交えた楽しい講演でした。



長崎ウエスレヤン大学の中野伸彦先生

芸術鑑賞会



10月20日(火)、本年度の芸術鑑賞会を諫早文化会館で実施しました。この芸術鑑賞会は、演劇鑑賞、音楽鑑賞、古典芸能鑑賞という3つの分野を3年間のローテーションで実施しています。本年度は演劇鑑賞で日本でも指折りの劇団「わらび座」によるミュージカルを実施しました。

演目は手塚治虫生誕80周年記念で公演中のミュージカル「火の鳥」鳳凰編を実施しました。本校生徒のほとんどが本格的なミュージカルを観るのははじめてで、多くの生徒が大きな感動と衝撃を受けていました。



幼稚園実習

11月13日(金)、1年生の2クラス80名が諫早幼稚園において、幼稚園実習を実施しました。無邪気な園児たちと心の触れ合いを体験しました。



第57回長崎県英語教育研究大会



11月13日(金)、諫早文化会館において「国際化・情報化社会に求められるコミュニケーション能力の育成を目指して～新学習指導要領を見据える～」をテーマに、県下の中学校と高等学校の英語の先生が参加しての長崎県英語研究大会が開かれました。本校の3年生の1クラスが公開授業で参加しました。

第61回 長崎県高等学校駅伝競技大会



思い続ける者が勝つ

晩秋の風を受けながら女子 28 校、男子 50 校が小浜路に集い熱い熱戦が繰り広げられました。女子は 15 年連続 16 回目、男子は 10 年連続 12 回目の優勝を勝ち取り、来る 12 月 20 日の京都で行われる、全国大会への切符を手に入れました。



女子15年連続16回目優勝

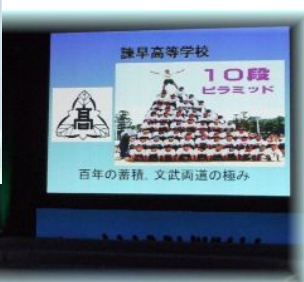


男子10年連続12回目優勝



長崎県高等学校総合文化祭開会式

10月30日(金)、アルカス佐世保において、長崎県高等学校総合文化祭開会式が開催されました。各学校の紹介では、生徒会総務委員長の中村侑香さんが、10段ピラミッドのスライドを背景に本校を紹介しました。



おもな学校行事

12月	1月	2月
12/ 1(火) 2年保護者会	1/ 5(火) 冬季特別学習(~ 1/7)	2/ 1(月) 高校入試(推薦)
12/ 5(土) 理数科講演会	1/ 8(金) 始業式	2/ 4(木) 2年理数科校内発表会
12/ 9(水) 2年修学旅行(~ 12/13)	1/12(火) 1年・2年校内実力(~ 1/13)	2/ 6(土) 1年・2年対外実力試験
12/19(土) 1年・2年県下一斉実力試験	1/16(土) センター試験(~ 1/17)	2/10(水) 校内マラソン大会
12/20(日) 全国高校駅伝(京都)	1/23(土) 対外実力試験(~ 1/24)	2/22(月) 1年・2年学年末考査(~ 2/27)
12/24(木) 終業式	1/27(水) 1年理数科校内発表会	2/24(水) 代休(2/27分)
12/25(金) 冬季特別学習(~ 12/28)		2/27(土) 卒業式予行・同窓会入会式